

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	レーヴ
住所	大阪府大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10階
電話番号	06-6940-0877

事業所番号	2719402378
管理者名	末藤 隆行
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		70 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		5 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	○	

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）	8	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった		
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
◎ ⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	8	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
--	---	---------

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計

155

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	91,992.3	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	15,108	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.09	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円	収支		円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	--	---

前年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-1,078,710,477	円	利用者に支払った賃金総額	79,509,762	円	収支	▲ 1,158,220,239	円
-----------------	----------------	---	--------------	------------	---	----	-----------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（ 年度）における実績（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を活用した人数	12名
※取得を進めた免許等：	公認心理士 他
ピアサポート研修	
制度の活用内容：	自社での正社員雇用へ向けて、福祉職員として必要な専門知識を習得し、支援や相談業務に携わっていく。

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	140名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input checked="" type="checkbox"/>
※登用した日	令和4年 4月 1日
勤務形態：	パートタイム
就業時間：	9時30分～16時30分
職務内容：	職業指導員

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（在宅勤務）：	時 分～時 分
職務内容：	

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（コアタイム）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（短時間）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（早出の場合）：	時 分～時 分
就業時間（遅出の場合）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	名
◎計画的付与制度を活用した人数	名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>
	計画的付与制度 <input type="checkbox"/>
取得した期間：	月 日～月 日
取得日数・時間	日 時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	3名
※取得した内容：	自宅での怪我（手術入院）
取得した期間：	1月11日～1月31日
就業時間：	9時30分～16時30分
職務内容：	支援員

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（ 年度）における実績（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎研修実施回数	外部 6回/内部 13回
対象職員数	28人
うち研修受講者数	306人
※研修名	障害者職業生活相談員資格認定講習
研修講師	栗原安本 永田芳賀 安藤黒木 若井
実施日・受講者数	11月 8～9日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	回
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
※先進的事業者名	ロジックラボ
実施日/参加者数	9月 21日 4人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	1回
※商談会等名	ビジネスチャンス発掘フェア2022
主催者名	ビジネスチャンス発掘フェア2022事務局
日時	11月 16日～17日
内容	大阪府内を中心としたものづくり企業の優れた技術・製品PRおよびビジネスマッチング。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	3年 5月 1日
人事評価制度の対象職員数	140名
うち昇給・昇格を行った者	139名
当該人事評価制度の周知方法	紙面にて

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	<input checked="" type="checkbox"/>
※配置期間	4月1日～3月31日
就業時間	9:30～16:30
職務内容	職業指導員

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
※評価を受けた日	9月 30日
第三者評価機関	一般社団法人ば・まる

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

他の就労継続支援 A 型事業所における視察（地域連携活動）実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型・B型 ロジックラボ	事業所番号	2711800991
住 所	大阪市西区立売堀1-11-17スギタビル6F	管理者名	東 二郎
電話番号	06-6585-9813	対象年度	令和4年度

視察・見学の概要

<p><活動内容></p> <p>視察場所 ロジックラボ</p> <p>実施日程 令和4年9月21日（水） 13:00～</p> <p>参加者数 等</p> <p>東（株式会社テクリオ） 住吉（株式会社リベラー） 田代（NPO法人リアン） 末藤（株式会社リアン）</p>	<p><視察の様子></p> <p>活動の様子 事業所の取り組みについてサビ管より説明をお聞きしました。特にシステム開発とeスポーツについての取り組みについて質疑応答を行った。その後は、実際に研修の様子を見学させていただいた。講師と利用者様が一緒に取り組まれており、全員が楽しく参加され、明るく活気あふれる内容だった。</p> <p>成果物の写真</p>  
<p><目的></p> <p>他地域での事業活動見学 今後の事業活動にとってのメリット</p>	<p>活動内容の追加コメント</p> <p>A型・B型の併用による事業所にて事業展開されている。A型事業は主にシステム開発および保守・点検、B型事業はeスポーツに力を入れられている。開設の翌年から定期的に障がいのある方向けにeスポーツ大会の運営も積極的に行うなど、普及活動を他団体と連携しながら行われている。</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果 今後大きくなっていく「eスポーツ」えお就労に繋げていく取り組みが参考になった。</p> <p>得られた成果 SNSを活用して活動内容を外部へ周知していく。また、活動を継続していくことが難しいかもしれないが、事業としてやっていく場合は大切な事。</p> <p>課題点 実際にプロとしての経験があり、人に教えることができる人材確保が今後の課題。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>視察した結果に対する意見または評価</p> <p>eスポーツ事業を行う中で、企業との連携も必要。また、代表が全国の障がい者eスポーツ大会やイベントへ積極的に参加し、横の繋がりが出来たことが一番の強みである。当事業所として、今後の事業において「人材」をどうしていくかが課題である。</p> <p>今後の事業強化に向けて</p> <p>SNSは情報の拡散力や拡散スピードの面でアドバンテージがあるので、今後事業所として外部への継続的なPR施策としても、SNSは非常に有効である。また、関西の障がい者eスポーツ団体等の活動への参加をしていくことで、地域連携の輪を広げていきたい。今回視察で、eスポーツに対するイメージが大きく変わったことも収穫であった。</p>			
連携先企業名	株式会社テクリオ	担当者名	東 文恵

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	レーヴ（旧リアン谷町）	事業所番号	2719402378
住 所	大阪市中央区内本町1丁目2-14秀和ビル10階	管理者名	未藤隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	2022年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>	
<p>本事業所では、令和4年12月に大阪市に障害福祉事業所及び人材派遣事業を展開している株式会社絆ホールディングスより、障害者e-sports大会を企画したいとの依頼を受けてどのような大会にするか等の企画業務を請け負った。本事業所では新型コロナウイルスの為に休業しており、利用者様には在宅での体調管理や休業が明けてからの業務再開に向けての支援を行った。</p>	活動の様子の写真1	活動の様子の写真2
<p><目的></p> <p>依頼を受けた障がい者e-sports大会の企画は、社会と障がいをお持ちの方を繋ぐための大きな役割があり、同じハンデを持った弊社の利用者様だからこそ出来る企画です。地元地域で大会を開催する事により企画法人としての事業活動を地元地域へ報告を行っていく。対象者のメリットとしては同じ障がいをお持ちの方と地域の需要にあった大会を企画するために依頼法人と障がいをお持ちの方、そして地域のニーズを汲み取り企画・運営を考えていく訓練となる。</p>	活動内容のコメント	
<p><成果></p> <p>休業が明けてから業務に従事して頂く対象者には、障がい者e-sports大会の企画を行ってもらう事を伝え、休業中のモチベーションにつながった。また、上記業務に活かせるスキル（動画編集・Excel・PowerPoint等）を自己学習で学んで頂き、業務が再開した時へ向けて各自が自発的に準備を行って頂けた。</p>	<p>e-sports大会を行う上で適した機材等を用意して、どのような企画にするかなどを実際にプレイをしてもらい考えてもらえるように設備環境を整えました。また、e-sportsの中でどの役割から関わりたいのか、そして何が得意なのかを知り、やりたい仕事に向けてビジネスや専門的な知識を付けることが今後期待できると思われる。ビジネスを動かす役割もあれば、大会宣伝用にクリエイターとして動画やイラストレーターといった広報活動など、幅広い分野で活躍の場を設けていく。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>株式会社絆ホールディングスは障害者総合支援法に基づくサービスを運営しております。今回の企画によりe-sportsを通じて共生社会を目指し、適材適所で障がいの有無に関係なく活躍できるユニバーサルな街づくりを目指します。そのような取り組みを行っている弊社の認知度が上がる事により、弊社の活動内容を地域の方々にも知って頂き、新たに弊社サービスを利用したいというお声にもつながると考えております。</p>			
連携先企業名	株式会社絆ホールディングス	担当者名	下川弘美

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

事業所名	リアン谷町	事業所番号	2719402378
住 所	大阪市中央区本町1-2-14秀和ビル10階	管理者名	末藤隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	令和 4 年度

販路拡大の商談会等への参加

<p><活動内容></p> <p>活動場所 マイドームおおさか 2階・3階展示場</p> <p>実施日程 2022年11月16日(水)13:00～ 2022年11月17日(木)10:00～</p> <p>活動目的 ビジネスチャンス発掘フェア2022 出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p>  <p>活動内容の追加コメント 11月16日、17日にかけて、大阪府内を中心としたものづくり企業の優れた技術・製品のPRおよびビジネスマッチングの促進および商談会。八尾市・商工会議所等、行政も含めて大阪のものづくりへ力を入れているのが伝わった。</p>
<p><目的></p> <p>活動のねらい 事業所での柱であるものづくり事業の新規開拓</p> <p>事業所にとってのメリット 事業運営の安定化</p> <p>対象者にとってのメリット 幅広い業務内容と、高いクオリティを求められる事によるやりがいアップ</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション</p> <p>得られた成果 大阪のものづくり技術の高さと現状</p> <p>課題点 ものづくり事業として設備を整えてきたが、民間企業との差が大きいため、製品アイデアと技術力を備えるためには、他企業との連携・協力が必要。</p>	

販路拡大に向けた企業等の意見または評価

<p>プラスチック切削加工、樹脂切削加工企業等の担当者より、飛沫防止のマスクと同様、管楽器演奏時の飛沫拡散防止のための製品を開発。ただし、最後は人の手でパーツの組み、完成品となるとの事でした。担当者との話の中で、就労継続支援事業所でも製品のクオリティを一定に維持していくため、協力できるのではないかと助言を戴く。また、誰が携わっても同じように完成出来るための必要なサポートグッズであったり、現場の声が反映出来る事があればお互いに何か協力していけるのではないかと事。</p> <p>今後の支援力強化に向けた課題 A型事業所だけで事業を行っていくにはどうしても限界があるので、今回のようなイベントや商談会へ積極的に参加していくことで、職員の視点も広がり新しいアイデアに繋がっていくと思われる。コロナ禍で、イベント自体が減ってきている中、他企業との連携強化で支援力強化へ繋げていけるようにしていく。</p>			
企業名	株式会社リングス	担当者名	宮本 義彦

就労継続支援 A 型事業所における支援力向上報告書

事業所名	リアン谷町
住 所	大阪市中央区本町1-2-14秀和ビル10階
電話番号	06-6940-0877

事業所番号	2719402378
管理者名	末藤隆行
対象年度	令和 4 年度

販路拡大の商談会等への参加

<p><活動内容></p> <p>活動場所 マイドームおおさか 2階・3階展示場</p> <p>実施日程 2022年11月16日(水)13:00～ 2022年11月17日(木)10:00～</p> <p>活動目的 ビジネスチャンス発掘フェア2022 出展企業との交流促進による新たなビジネスの創出促進</p>	<p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p>  <p>活動内容の追加コメント オンラインによるイベントも、デジタルマーケを導入していくにあたって、民間企業の取り組みが非常に参考となりました。また、チャット、ライブ配信、参加者へのアナウンスなど、リアルタイムでコミュニケーションがとれる機能を多数紹介していただき、福祉事業所でもそういった事を考えていく時期に来ていると感じました。 時間をかけず迅速な対応が出来る事は、支援力向上にも繋げていくことが出来るのではないかと思います。</p>
<p><目的></p> <p>活動のねらい 事業所へ外部からの問い合わせ・活動の案内への対応</p> <p>事業所にとってのメリット 事業運営のデジタル化</p> <p>対象者にとってのメリット 業務内容の案内の効率化と、正確な情報を離れた場所においても共有可能</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 出展者による技術関連のプレゼンテーション</p> <p>得られた成果 大阪のものづくり技術の高さと現状</p> <p>課題点 対面とオンラインのメリット・デメリットを再認識出来たが、福祉事業で導入する際の環境整備等。</p>	

販路拡大に向けた企業等の意見または評価

<p>企業からの意見または評価</p> <p>事業所と業務取引がある法人様や商品・ユーザー情報や、Webサイトにアクセスされた行動履歴をCRM・MAツールとしてデータを蓄積していくことで、効率よい事業展開を図っていくことができると思われる。民間企業のしくみ・既に取り組みされている形が、これからの福祉事業所でも必要となってくると思われる。。</p> <p>今後の支援力強化・販路拡大に向けた課題</p> <p>取引先の新規開拓イベントへ直接足を運ぶだけでなく、オンラインや仮想空間による開催が増えつつある。今後、どちらも対応できることで、販路拡大に向けて強力な力になると思われる。しかし、どれだけ良いシステムを導入しても、使いこなせる人材育成が当面の課題である。</p>			
企業名	株式会社YRK and	担当者名	神谷 有紀